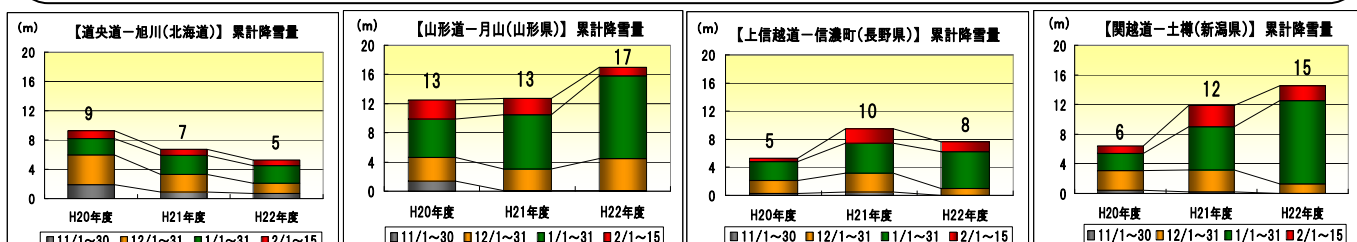


降雪の影響について

1. H22.11.1～H23.2.15 の累計降雪量

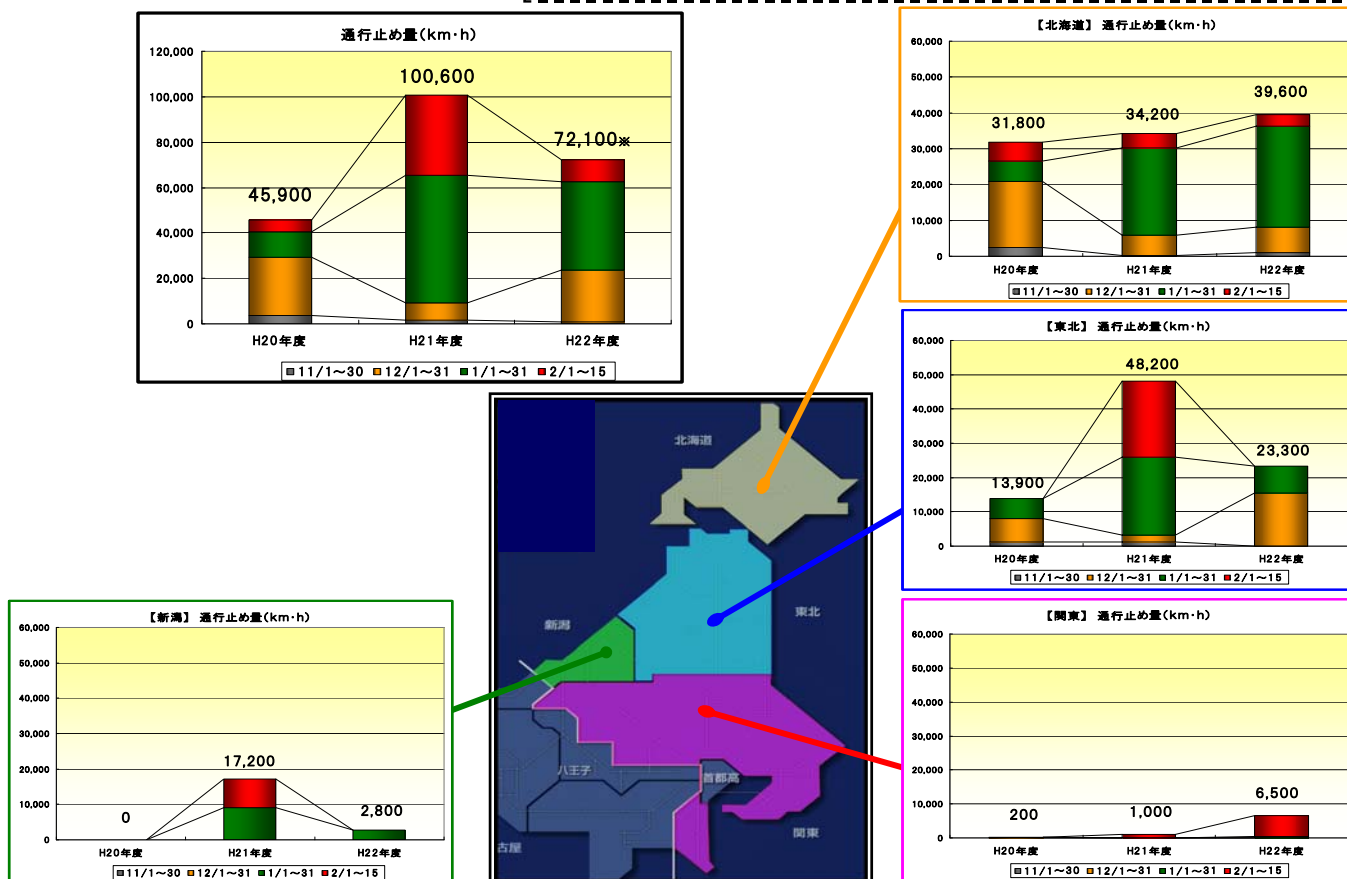
- 道央道の旭川における上記期間中の累計降雪量は約5mあり、昨年度同時期(約7m)より少雪となった。
- 山形道の月山では約17mあり、昨年度同時期(約13m)より多雪となった。
- 上信越道の信濃町では約8mあり、昨年度同時期(約10m)より少雪となった。
- 関越道の土樽では約15mあり、昨年度同時期(約12m)より多雪となった。



2. 降雪の影響による通行止め実施状況

- 降雪の影響による通行止め量は、約 72,100km・hで昨年度同時期と比較すると72%となった。

※通行止め量：通行止を実施した区間距離に通行止時間乗じた、通行止めの絶対量を表す指標。
 通行止め量 (km・h) = 通行止区間距離 (km) × 通行止延べ時間 (h)



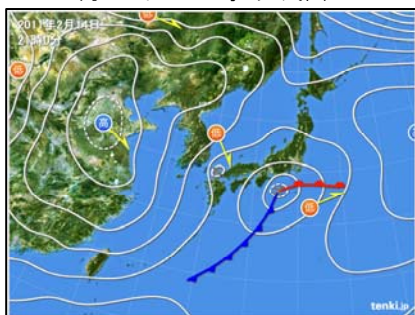
※四捨五入により、合計値が合いません。

3. H23. 2月の主な通行止めについて

- 2/14 南岸低気圧の影響により、関東地方全域が降雪となった。
東北道/常磐道/外環道/関越道/圏央道/横横道が通行止めとなった。

日時	通行止め量 (km・h)	上下線別延長 (km)	主な区間	通行止め時間 (h)
2/14~15	6,000	640	東北道 川口 JCT~浦和 IC	12

2月14日 21時 天気図



2月15日:毎日新聞

大雪:関東の交通機関混乱、転倒事故も相次ぐ

関東地方など広い範囲で降った雪は、14日夕以降、交通機関などに影響を与えたほか、東京都内では同日午後10時までに転倒事故などで10人が病院に搬送された。

JR東日本によると、東北新幹線は午後10時10分ごろ、小山-大宮駅間の栃木県野木町の上り線路に竹が倒れているのを、那須塩原発東京行き新幹線の運転手が発見。雪の影響とみられ、撤去作業のため、東京-福島間の上り線一時運転を見合わせた。

東海道・山陽新幹線は、豊橋(愛知県豊橋市)-広島駅間で、午後5時20分ごろから上下線で徐行運転した。JR東海によると、上下線138本が10分以上遅れ、10万人に影響が出た。タイヤが大幅に乱れたため、JR東海は15日の始発まで東京駅で待機する乗客のために1編成(16両)を列車ホテルとして開放した。

JR東京支社によると、中央線八王子駅で線路のポイントが切り替わらなくなったため、午後10時ごろから東京-高尾駅間で一時快速電車の運行を取りやめた。

中日本高速道路八王子支社によると、14日午後10時現在、甲府市の中央道甲府昭和インターチェンジ(IC)付近で除雪車と車の接触事故が起きるなど雪の事故が多発。中央道甲府昭和IC-韮崎IC間上り▽諏訪IC-岡谷ジャンクション(JCT)間下り▽伊北IC-岡谷間上りなどで通行止めになった。

東京外環道大泉JCT-三郷南IC間、圏央道青梅C-桶川北本ICも午後11時から通行止めになった。

また、日本道路交通情報センターなどによると、首都高速埼玉新都心線も午後9時過ぎに積雪のため通行止めになったほか、午後10時半過ぎから東北道でも川口JCT-佐野藤岡IC間で通行止めになった。



雪に覆われたサザンテラス=東京都渋谷区で
2011年2月14日午後10時48分、須賀川理撮影